

このたびは、弊社製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。  
ご使用前に必ずこの説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。  
(この説明書は、必ず保管しておいてください。)

**安全上のご注意**

施工、使用（操作・保守・点検）の前に必ずこの説明書とその他の注意書きをすべて熟読し、正しくご使用ください。機器の知識、安全の情報そして注意事項のすべてについて習熟してからご使用ください。この説明書では、安全注意事項のランクを「警告」「注意」として区分してあります。

	<b>警告</b>	回避しないと、死亡または重傷を招くおそれがある危険な状況を示します。
	<b>注意</b>	回避しないと、軽傷または中程度の傷害を招くおそれがある危険な状況および物的損害のみの発生するおそれがある場合を示します。

- お守りいただく内容を次の図記号で区分しています。
- 気をつけていただく内容です。
- してはいけない内容です。
- 実行しなければならない内容です。

なお、 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも重要な内容を記載していますので必ず守ってください。

**■施工上のご注意**

<b>警告</b>	
	分解・改造や本体へ二次加工はしないでください。故障・感電・けがの原因になります。
	アース端子を利用して、アース接続を必ず行ってください。感電の原因になります。
	取付および配線は活線状態で行わないでください。故障・感電・けがの原因になります。
	電気工事（取付・施工）は有資格者が行ってください。故障・感電・けがの原因になります。 電気工事は「電気設備技術基準」および「内線規程」を厳守し、必ず専用の電源回路としてください。故障・感電・けがの原因になります。 配線がファンに巻込まれないように、結束バンドなどで固定してください。故障・感電の原因になります。 配線は適切な電線・圧着端子および圧着工具を使用してください。発熱・火災のおそれがあります。

<b>注意</b>							
	<p>使用するねじやボルトは、指定されたものを使用してください。取付けの際は、適正締付トルクにて締付けてください。締付けが不十分な場合、落下・破損の原因になります。また、締付け過ぎの場合は、製品を破損するおそれがあります。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>ねじの呼び</th> <th>適正締付トルク N・m</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>M4</td> <td>0.6</td> </tr> <tr> <td>M5</td> <td>2.9~3.9</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ただし、S タイプねじにおいて締付時の初期トルクはこの限りではありません。</p>	ねじの呼び	適正締付トルク N・m	M4	0.6	M5	2.9~3.9
ねじの呼び	適正締付トルク N・m						
M4	0.6						
M5	2.9~3.9						

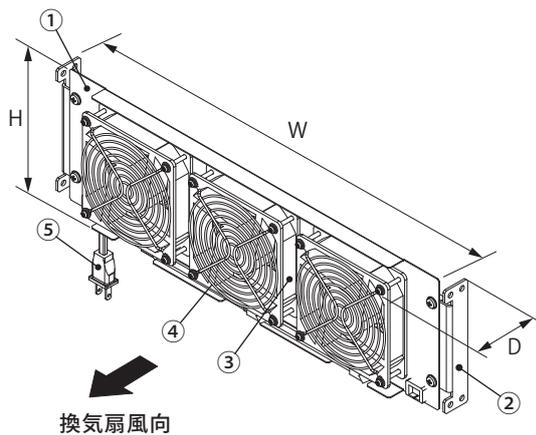
**■使用上のご注意**

<b>警告</b>	
	感電のおそれがあります。 ・通電中は充電部に触らないでください。 ・清掃や保守点検時は必ず電源を OFF にし、電源の供給を止めてください。 ・配線の引張り、挟み込みで、配線を傷つけたり、無理なストレスをかけないでください。
	濡れた手で操作しないでください。故障・感電の原因になります。
	次のような場所では使用しないでください。故障・感電・火災の原因になります。 ・可燃性ガスのある場所 ・可燃性ガスが漏れるおそれのある場所 ・水滴のかかる場所 ・有機溶剤のかかる場所 ・腐食性ガスのある場所 ・導電性粉塵（カーボン繊維・金属粉など）のある場所
	本製品の故障が原因で人命並びに社会的に重大な影響を与えるおそれがある場所（医療関係、航空宇宙関係など）には使用しないでください。 電源プラグコードの引張り・はさみ・無理な曲げ・ねじり・傷付け・加工・加熱・重いものを載せるなどしないでください。断線して火災の原因になります。 プラグの差込みが浅い状態で使用しないでください。感電・火災の原因になります。 電源プラグコードを束ねての使用は避けてください。過熱して火災の原因になります。 刃の曲がった電源プラグは使用しないでください。火災の原因になります。 電源プラグコードが破損したままの状態で使用しないでください。感電・火災の原因になります。

⚠ 警告			
⊘	プラグの抜き差しが弱い状態で使用しないでください。発熱して火災の原因になります。	⚠	異常時(焦臭いなど)は電源を OFF にし、運転を停止してください。感電・火災の原因になります。
	保守・点検は専門知識を有する人が定期的に行ってください。故障・感電・けがの原因になります。		定期的にプラグの表面や差込部を掃除してください。火災の原因になります。
!	定格電圧でご使用ください。使用電圧は定格電圧の ±10%以内です。電源電圧が変動した場合でも使用電圧を超えないようにしてください。故障・感電・火災の原因になります。		必ずプラグを持ってまっすぐに引抜いてください。内部の電線が切れて、焼損・火災の原因になります。

⚠ 注意			
⚠ 回転物注意	けがのおそれがあります。 ・フィンガーガードを取外したまま運転をしないでください。 ・ファン回転部に指や異物を絶対に入れないでください。 ・保守点検時は(ファンの回転を点検する場合を除き)必ず電源を OFF にし、ファンの羽根の回転が停止してから行ってください。	⊘	次のような場所では使用しないでください。 故障、誤動作の原因となります。 ・使用温度範囲外となる場所 ・振動、衝撃のある場所 ・塩分が多い場所 ・極度に塵埃やオイルミストが多い場所 ・ノイズ(電界・磁界)の強い場所
	精密機器ですので振動・衝撃を与えないでください。故障の原因になります。		!

## ■各部の名称・仕様



## ●付属品

名称	数量
バンド小ねじM5	4コ
Sタイトフランジ六角ボルトM5	4コ
回転物注意ラベル	1コ
取扱説明書(本紙)	1部

番号	部品名	材質	板厚 mm	数量
①	パネル本体	鉄	1.0	1コ
②	パネル取付金具	〃	2.3	2コ
③	換気扇	—	—	3コ
④	フィンガーガード	—	—	6コ
⑤	電源プラグコード	—	—	1コ

品名記号	外形寸法 mm			塗装色	製品質量 kg	摘要
	W	H	D			
RD47-63K※	508	149	59	ブラック	1.9	電源プラグコード約 1.7m □120 換気扇・低騒音タイプ ×3コ
RD47-73K	608	〃	〃		2.1	
RD47-83K	708	〃	〃		2.3	

※RD47-63K は、19 型 EIA 規格のマウントアングルにも取付可能です。

【ご注意】 付属の回転物注意ラベルは、本製品またはラック本体の見える位置に必ず貼付けてください。

## ●換気扇

定格電圧 V(単相)	定格周波数 Hz	最大風量※1,2 m <sup>3</sup> /min	最大静圧※1,2 Pa	定格電流※1 A	定格消費電力※1 W	騒音※3 dB(A)	使用温度 ℃
AC100	50/60	1.4/1.7	32/31	0.14/0.12	10.5/9.0	約 33/37	-10 ~ +60

※1. 定格電圧印加時の値です。定格電圧外の電圧を印加すると、性能に影響します。

※2. 最大風量、最大静圧の測定方法はダブルチャンバー方式です。

※3. 騒音は反響の少ない無響音室で測定した値です。現地での据付環境および反響によって騒音値は大きく影響されますので注意してください。

・期待寿命は、周囲温度 25℃連続運転で約 40,000 時間(約 4 年半)です。

## ■取付方法

### ●FSシリーズ フレームタテへの取付方法(FSTは除く)

既存製品に、組替仕様のコンセントバー【-CP□】またはファクトライン【-L□R】が、すでに取付けられている場合の対応表

品名記号	コンセントバー【-CP□】			ファクトライン【-L□R】
	6コ口 -CP6	10コ口 -CP10	16コ口 -CP16	
FS□-□8	○※1	—	—	—
FS□-□10	○	×	—	×
FS□-□12	○	○	×	×
FS□-□14	○	○	○	×
FS□-□16	○	○	○	○
FS□-□18	○	○	○	○※2
FS□-□20	○	○	○	○※3
FS□-□22	○	○	○	×

○・・・取付可能

×・・・取付不可

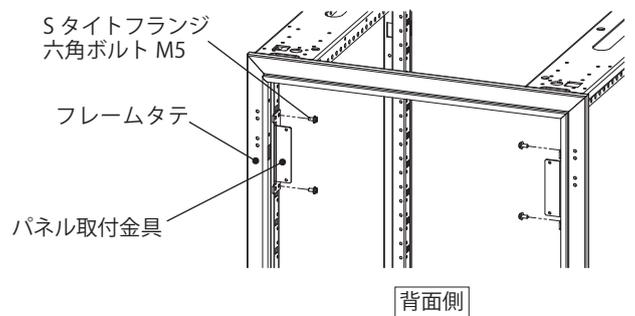
※1. コンセントバーの取付位置を 50mm 下げてください。

※2. ファクトラインの取付位置を 50mm 下げてください。

※3. ファクトラインの取付位置を 100mm 下げてください。

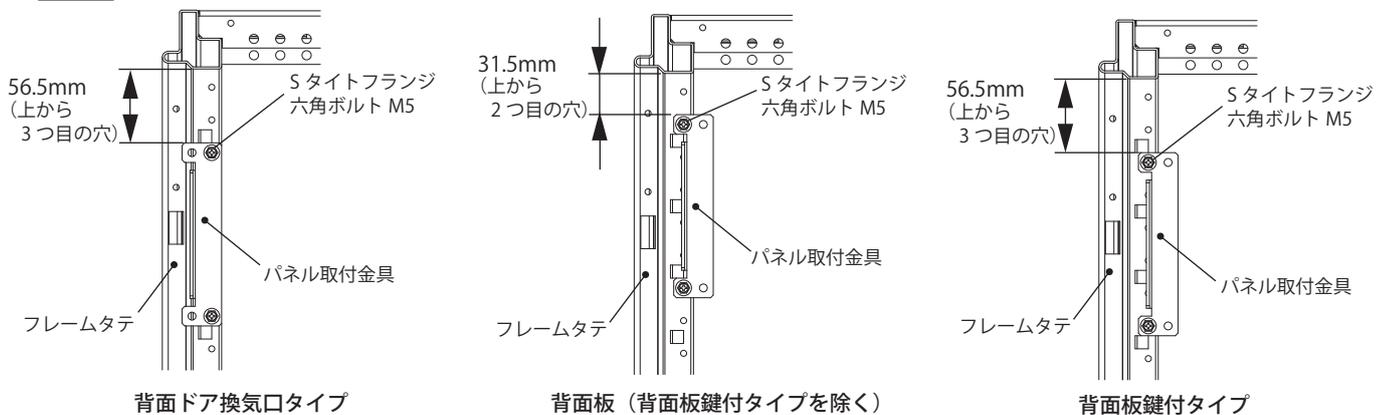
**ご注意** 取付不可(×)の場合は、コンセントバー・ファクトラインの交換が必要です。別途お問合せください。

1. 背面側のフレームタテに、パネル取付金具を、付属のSタイトフランジ六角ボルト M5(左右各2カ所)にて取付けてください。



#### ○パネル取付金具の取付位置(ラック内側)

**ご注意** 背面の仕様によって、パネル取付金具の使用する穴が異なります。



2. パネル取付金具にパネル本体を、付属のバインド小ねじ M5(4カ所)にて取付けてください。(図1)

**ご注意** パネルの取付方向は、換気扇が背面側に向くように取付けてください。

3. 電源プラグコードをエッジホルダに差込んでください。(図2)

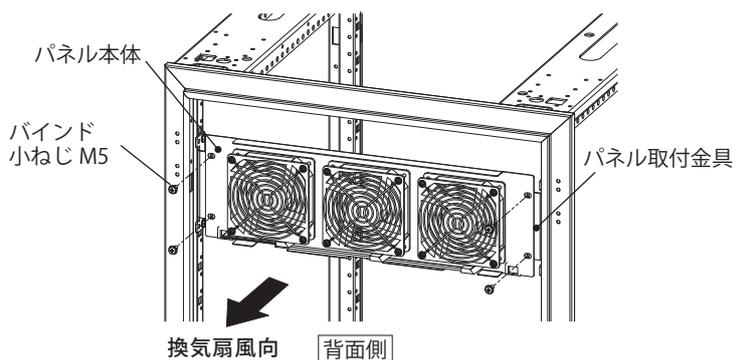


図1

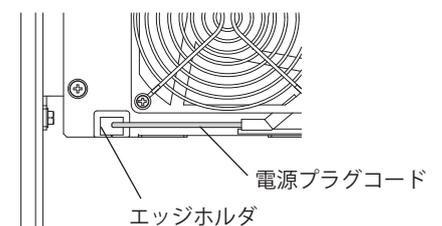


図2

## ●制震ラック・ガルテクトへの取付方法

1. コーナー補強にパネル本体を、付属のSタイトフランジ六角ボルト M5 (4カ所) にて取付けてください。(図3)

### 【ご注意】

- ・パネル取付金具は使用しません。
- ・パネルの取付方向は、換気扇が背面側に向くように取付けてください。

2. 電源プラグコードをエッジホルダに差込んでください。(図4)

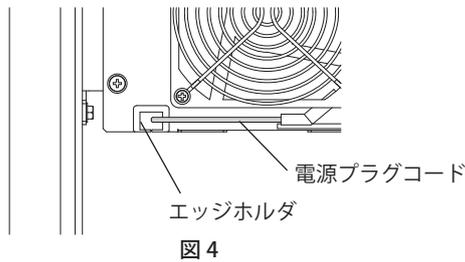


図4

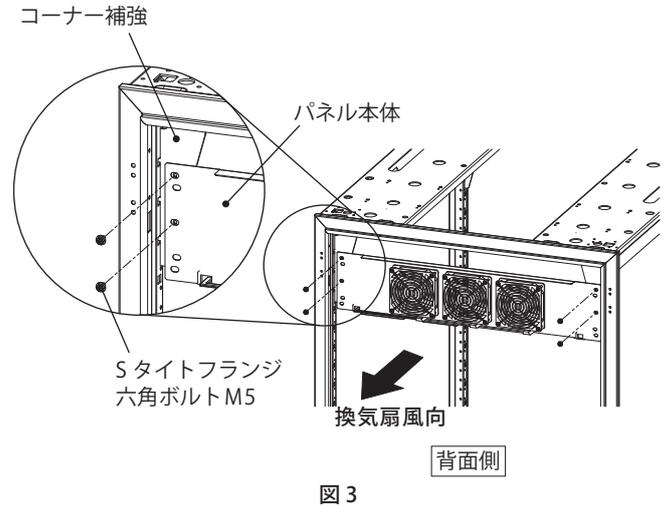


図3

## ●吸気用として使用する場合

1. 電源プラグコードを換気扇から取外してください。
2. 換気扇を取付けている3点セムスなべ小ねじM4および皿ばねワッシャー付ナットM4(各4カ所)を取外してください。(図5)
3. 換気扇を表裏反転し、風向を変えてください。(図6)
4. 上記と逆の手順で換気扇および電源プラグコードを取付けてください。

### 【ご注意】

- ・換気扇の風向に注意してください。風向は換気扇の側面に表示してあります。
- ・電源プラグコードは、換気扇の電源入力端子に確実に根元まで挿入してください。

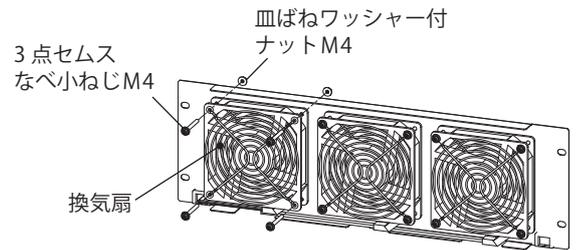


図5

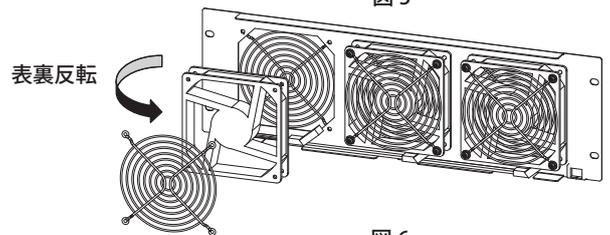


図6

## ■換気扇の交換方法

1. プラグをコンセントから抜いてください。
2. 電源プラグコードを換気扇から取外してください。
3. 換気扇を取付けている3点セムスなべ小ねじM4および皿ばねワッシャー付ナットM4(各4カ所)を取外してください。
4. 換気扇を交換してください。
5. 上記と逆の手順で換気扇および電源プラグコードを取付けてください。

### 【ご注意】

- ・換気扇の回転が停止したことを確認してください。
- ・換気扇の風向に注意してください。風向は換気扇の側面に表示してあります。
- ・電源プラグコードは、換気扇の電源入力端子に確実に根元まで挿入してください。

交換用換気扇：PF-121CL(低騒音タイプ・ロースピード)

## ⚠注意



使用するねじやボルトは、指定されたものを使用してください。  
取付けの際は、適正締付トルクにて締付けてください。  
締付けが不十分な場合、落下・破損の原因になります。  
また、締付け過ぎの場合は、製品を破損するおそれがあります。

ねじの呼び	適正締付トルク N・m
M4	0.6
M5	2.9~3.9

※ただし、Sタイトねじにおいて締付時の初期トルクはこの限りではありません。

施工業者名	
TEL	施工年月日 年 月 日

警告表示がかすれたり、破損した場合は、警告ラベルの発注をお願いします。  
仕様など、お断りなしに変更することがありますのでご了承ください。  
また、ご不明な点がございましたら弊社お客様相談室にお問合わせください。  
この説明書の内容は2017年12月現在のものです。

C414706922